「耳」の聞こえない方へ

安全を考え事故を防ぐ 京急新聞

野比東小学校
6年1組
山下蘭華
山本夢海

2人の父毛!!

耳の不自由な方へのきづかいをしていて「表やポスター」などをはっていると聞き「そうなんだ!!」と耳の不自由な方のためにも色々な工夫をしていると初めて知りました。

耳の聞こえない方・不自由な方は、電車やバスの走行音やクラクションが聞こえず、すぐそばまで近づいてることに気づかないことがあります。なので、声をかけても反応がないときはその人に視界に入るようにゆっくり、はっきりと話しかけたり、コミュニケーションをとるといいです。

聴覚隠者のシンボールマーク…通訳などのサービスを受けられる場

しつもん してみました

Q、耳の聞こえない方への工夫はありますか？

A、表やポスターをはりつけ分かりやすく、より安全にしています

Q、目の見えない方が安全に乗るためには、どんな工夫をしていますか？

A、目の見えない方が安全に乗ることができるように点字タイルを使っています。

Q、車イスの方への対策などありますか？

A、車イスの方へのエレベーターなどがあります。

目の見えない方への工夫

目の見えない方・不自由な方のために、点字ブロックがあります。点字ブロックは、目の不自由な方へ「ここまでですよ！」など歩行に、必要な情報を提供し安全に誘導するために床面や路面にしかれているブロックのことです。点字ブロックは目の不自由な方のために、とても役に立っている道具です。

目の不自由な方への「命綱」

点字ブロック

車椅子の方への対策

歩けない方や車椅子の方は、その方用のエレベーターや警告ブロック・トイレ施設ほかに座る椅子にも工夫や対策があることが分かりました。

大切なこと

耳の聞こえない人ではクラクションが聞こえず気付かない場合があるので安全のためにとても大切だと思いました。

目の見えない人では、より安全にするために点字ブロックがしいてあるのには理由があるのを知り安全のために大切なものなんだなと思いました。

車イスの人では、駅員さんに手伝ってもらったり、色々な方から手伝ってもらったりなど協力してもらっていることも大切だと思いました。

編集後記

色々な障害者がいる中で、エレベーターや命綱だったり、シンボルマークが必要になるのに便利かなと思いました。駅の中で障害者の方へどんな工夫や便利な事をしているか私たちも知れてみんなにも知ってもらいたいと思いました。これからも障害者の方が生活しやすいような工夫を続けていく・広がっていけたらいいなと思います。